

集いの居場所ぱんぷきん ~竹野地区~

笑顔あふれる 昔なつかしい喫茶

活気が無くなっていくような感覚がある中、コロナ禍で竹野駅からだんだんと人の出入りが少なくなり、何かしたい！という思いが現実となったのが“ぱんぷきん”。

緊急事態宣言発令中は活動できなかったが、この期間に話し合い、**地域の方の交流の場として多くの方に気軽に足を運んで欲しい**という思いから住民の交流の場を開設した。イベントも実施しやすくなった他に、会議の場として利用されることもある。今後は、ぱんぷきんに来ることが難しい方にも目を向けて、人と人、地域と地域をつないでいきたい。



活用頻度：9時30分～16時（月曜定休日）

活動内容

- ・竹野駅前「集いの居場所ぱんぷきん」を拠点として、住民が集い、地域住民の交流活動、幼児・高齢者の見守り活動、公共交通機関との連携、既存の町内行事への積極的な参加の呼びかけ等の活動を行う。



生活支援コーディネーター ひと言メモ

今回は住民交流拠点づくり活動助成事業を活用した集いの場をご紹介しました。取材をさせていただく中で、コロナ禍でも地域のつながりが途切れることのないよう、屋外での活動や、時間を分け密にならない工夫をしながら活動されている姿がありました。コロナも心配ではありますが、閉じこもりの方が心配で、誰かとのつながりが必要という声もありました。活動を続けることによって新たなつながりも生まれています。この活動の他にも、今このような時期だからこそつながりの大切さを感じ、新たな活動を始められている方もいます。

豊岡市社協ではそのような活動を YouTube で配信しています！新作動画を順次アップしていきますので、ぜひご覧ください！

豊岡市社会福祉協議会
YouTube チャンネル



とよおか社協ちゃんねる



とよおか社協ちゃんねる



とよおか社協ちゃんねる



【問合せ先】
豊岡市社会福祉協議会 地域福祉課 生活支援係
生活支援コーディネーター
TEL：23-2573 FAX：24-4511

【豊岡市生活支援体制整備事業】

第2号

とよおか・ささえあい 便り



豊岡市社会福祉協議会 地域福祉課

生活支援係 発行 ☎23-2573

生活支援コーディネーターの活動や地域・企業・団体等の皆さんの地域福祉活動を発信していくために「とよおか・ささえあい便り」を作成しました。生活支援コーディネーター等の活動やさまざまな情報（地域・企業・団体の活動やお役立ち情報）を発信していきます。

コロナ禍での地域福祉活動

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、普段の生活を脅かし、多くの地域活動が思うように出来ませんでした。各地域で実施されているサロン活動も休止されるところもあったと思います。

そのような状況の中で高齢者の閉じこもりや孤立死、精神的疲労、認知症の進行等の影響が出てきていないでしょうか。この時期だからこそ、人とのつながりが大事だと思います。社協では、身近な交流の場作りや、見守りやささえあい活動をすすめるための助成、運営の相談やお手伝いなどを行っています。お気軽にお声かけください。



いつでも
ご相談ください

社協では、ふれあいいきいきサロン活動助成や、支え合いの地域づくり活動助成、地域応援事業助成金、住民交流拠点づくり活動助成などの助成事業があります。今回は住民交流拠点づくり活動助成事業を活用され、コロナ禍でも出来る範囲で活動を続けられた住民交流拠点をご紹介します。



紹介します！

誰かに会えて、話ができる 笑顔になれて 元気がもらえる場 (住民交流拠点づくり活動助成事業を活用)

憩いの場ミドリヤ ～市街地(豊岡)～

『誰もが』『気軽に』 集まれる 地域の憩いの場

地域の中で、気軽に交流できる場所を作りたいと始まった、「憩いの場ミドリヤ」。

皆さん時間を忘れて話し込んでしまうほどの居心地の良さや、買い物帰りに寄って来たという方、友人数名とお茶を飲みながら談笑する方、時にはちょっとした相談に来た方など、誰もが気軽に来ることのできる雰囲気の魅力の一つ。

コロナ禍で実施するかどうか戸惑いもあったが、「**コロナも怖いけど、地域の人が閉じこもってしまうことが心配!**」と感染防止対策を徹底して実施している。

活用頻度：月・水・金曜日 13:00～16:00
第1・3月曜日はサロンとして開催
毎月15日は豊岡地域以外の方も参加
(上記の日に限らず、気軽に集まっています!)

活動内容
・気軽に集まり、お茶を飲みながら楽しくおしゃべり!
・住民が気軽に相談できる場にもなっている。



坂津区 ～資母地区(但東)～

『みんなで楽しみながら 広がる拠点』

今年度は、以前よりサロンや区の行事など参加されない方が気になり、来られないなら反対に、みんなで作った野菜や果物を持って、こちらから訪問しようと、「いきいき農園」を始めた。さっそく夏には採れたスイカをメンバーが「元気しとんなるか～」と声をかけながらお届けし、見守りを兼ねた訪問を実施。ひとり暮らしの方の中には、届いたスイカを北海道に住む家族にも送られ、帰ってこられた時にはお礼にとお土産が届いた。

みんなでわいわいガヤガヤと楽しみたいから、**コロナで部屋の中で集まるのが難しいなら、気にせず集まれる外での活動を増やした。**

活用頻度：鍵は毎日開けている。いつでも出入り自由。
地域住民の休憩所としても利用。

活動内容
・住民有志スタッフの運営により、多様な活動を計画し、気軽に集える内容を主体としている。



ゆうゆう ～草飼区(竹野)～

土足で入れるみんなの休憩所

高齢化が進み、人の行き来も少なくなる中で、**いつでも来たい時に寄ることが出来る交流の場をつくりたい**という思いから「ゆうゆう」を開設。

いつでも自分の行きたいときに行く場で、コロナ禍でも開けられている。区の中心に位置する人通りの多い場所にあるため、会館より気軽に集まる事のできる場となっている。登校の際の集合場所としても活用されている。今後も交流の機会を大事に、長く続けていきたい。

活用頻度：基本毎日(10時～16時)

活動内容

- ・地域住民(子どもから高齢者まで)が気軽に集い交流する場。
- ・農作業や散歩中の方の休憩の場、子どもの遊びや趣味を学ぶ場。
- ・困りごとの早期発見し、対応する場、生活支援に対応する場。



だいかい文庫 ～市街地(豊岡)～

『本』を通じてつながれる 暮らしに寄り添う まちの図書館

本を通じた交流拠点としてだけでなく、くらしの相談場所としての一面も持っている。

実際に、スタッフとの話の中で、悩みを打ち明けた方から、「心に溜まっていたものを吐き出せた」「相談できる場所があることで安心感が生まれた」との声があった。

「ここに来て、色んな人と交流しているうちに気づけば健康になっていた」、「人々が緩やかにつながり・よりそう」そんな場を目指す、だいかい文庫では、今日も本を通じて、多くの出会いやつながりが生まれている。

活用頻度：週4日以上
(不定休。ホームページに月間予定が記載。)

活動内容

- ・様々な職種の本好きが薦める本が並び、その場で読むことはもちろん、貸出や購入も可能。飲み物を飲みながらおしゃべりし、「ホッとできる」空間。
- ・医療・福祉専門職などのスタッフがお店番をする日もあり、健康のことも含めて、気軽に悩みが打ち明けられる、相談場所にもなっている。



だいかい文庫ホームページ

URL : <https://carekura.com/daikaibun>

